

自然な笑顔で撮影に  
応えてくれます

「撮影する機会が多くなるにつれて市民の方が私の顔を覚えてくれ、自然な笑顔で撮影に応えてくれるようになりました。作品が生き生きしたものになるので、編集にも熱が入ります」と、ビデオ撮影に携わって16年になる菅原さん。NHK主催のビデオ講習会に参加して以来ビデオ撮影のとりこになり、自宅に編集室を持つまでに。

脚本に始まり、演出、撮影、編集と一人何役もこなし、市の広報ビデオの撮影も手がけてくれます。

撮影のこつを尋ねると、「好奇心旺盛に数多く撮影することが大切。暗い中での撮影で、スイッチの位置を探すようでは、せつかくのチャンス逃してしまいますよね。カメラが分身とでもいうのでしょうか」とニコリ。

出会えた人たちに感謝したい

菅原さんは、今年、『全国アマチュアビデオ映像祭第15回丹波篠山ビデオ大賞』で最高位の大賞を射止めました。

受賞作は、夫婦ともに肢体が不自由ながら笑顔を絶やさず力強く暮らす姿を10年近く追った作品『しあわせ』。

「撮影で知り合った方たちの生活をモチーフにした作品が賞をいただいた時などは、感謝の気持ちでいっぱいになります。受賞した作品は10年前におふたりと知り合ってから、折に触れ、日常生活を撮り続けてきたもの。受賞の報告をしたらとても喜んでくれましたが、受賞の瞬間は『頭が真っ白』になりました」



『ひな人形づくり』で参加者に語りかける菅原さん

映像で登別市の歴史を  
後世に残したい

「閉校した札内小中学校や鉾山町の廃跡などを撮り続けたフィルムがたくさんあります。去って行ったものは帰りませんが、映像として残せます。これからもできる限り記録し続け、人びとの記憶に残る貴重な登別の歴史を後世に残したいと思います」と意欲を新たにしています。



KIRARI

すが わら みつ こ

菅原光子 さん(若草町)

昨年の『第1回エディロールビデオ力作コンテスト』での総合グランプリに続き、今年2月に『全国アマチュアビデオ映像祭第15回丹波篠山ビデオ大賞』で最高位、3月には『第3回北海道ふるさとCM大賞』で北海道知事賞に輝きました。

菅原さんに、受賞の喜びやビデオ撮影に込める思いを聞きました。

ビデオ撮影で出会う  
自然な笑顔が何より  
うれしい



函館市生まれ。

16年前、NHK主催のビデオ講習会を受講したのをきっかけに、四季折々の自然や人間模様をビデオに撮り続け、全国各地のコンテストで数多くの賞を受賞する。